



Title	浅野遼二名誉教授 近影・略歴等
Author(s)	
Citation	メタフュシカ. 2004, 35(2), p. 11-18
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/5338">https://doi.org/10.18910/5338</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



浅野 遼二 名誉教授 近影

## 浅野遼二名誉教授 略歴

昭和 15 年 6 月 16 日	ソウル（京城）に生れる
昭和 39 年 3 月	大阪大学文学部哲学科卒業
昭和 41 年 3 月	大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻修士課程修了
昭和 44 年 3 月	大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻博士課程単位取得退学
昭和 45 年 4 月	愛知学院大学教養部専任講師
昭和 46 年 12 月	愛知学院大学退職
昭和 47 年 1 月	大阪大学医療技術短期大学部講師
昭和 50 年 6 月	大阪大学医療技術短期大学部助教授
昭和 62 年 8 月	大阪大学医療技術短期大学部教授
平成 5 年 10 月	大阪大学教養部教授に配置換、大阪大学医療技術短期大学部教授併任
平成 6 年 4 月	大阪大学教授文学部に配置換
平成 8 年 3 月	博士（文学）の学位授与（大阪大学）
平成 11 年 4 月	大阪大学教授大学院文学研究科に配置換
平成 16 年 3 月	定年退職
平成 16 年 4 月	大阪大学名誉教授

他に主な出向した大学院および大学；大阪大学大学院医学系研究科、大阪府立看護大学大学院看護学研究科、愛知教育大学、大阪経済大学、関西学院大学

## 浅野遼二名誉教授 研究業績等一覧

### 著書

- 1 『現代倫理学』－その系譜と課題－（共著） 昭和54年10月 杉山書店
- 2 『歴史の哲学』（共著） 昭和55年5月 北樹出版
- 3 『哲学の諸問題』（共著） 昭和56年4月 晃洋書房
- 4 『現代思想のトポロジー』（共著） 平成3年3月 法律文化社
- 5 『ベルン時代のヘーゲル』（単著） 平成7年2月 法律文化社（学位論文・平成6年度文部省科学研究費補助金交付）
- 6 『現代哲学の潮流』（共著） 平成8年7月 ミネルヴァ書房
- 7 『生と死の文化史』（共著） 平成13年6月 和泉書院

### 論文

- 1 キルケゴールの実存弁証法（単著）昭和42年7月 愛知学院大学論叢『一般教育研究』第15号（43－68頁）
- 2 キルケゴールの不安と絶望の概念について（単著）昭和43年2月 愛知学院大学論叢『一般教育研究』第16号（175－202頁）
- 3 キルケゴールの「単独者」思想（単著）昭和44年12月 大阪大学文学会『待兼山論叢』第3号（175－202頁）
- 4 キルケゴールの「イロニー」思想（単著）昭和47年12月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第5輯（1－49頁）
- 5 キルケゴールの「フモール」思想（単著）昭和48年12月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第6輯（1－46頁）
- 6 キルケゴールの逆説弁証法（単著）昭和49年12月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第7輯（1－40頁）
- 7 ヘーゲル「論理学」の弁証法（単著）昭和51年12月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第9輯（1－31頁）
- 8 ニーチェのヘーゲル哲学批判（単著）昭和53年6月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第10輯（47－77頁）
- 9 キルケゴールとニーチェの歴史哲学（単著）昭和54年3月 大阪大学文学部哲学哲学史第2講座『哲学論叢』第4号（71－92頁）
- 10 ニーチェの「未来の哲学者」像（単著）昭和54年12月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第11輯（29－56頁）
- 11 愛と和解（単著）昭和55年12月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第12輯（59－91頁）

- 12 愛と別離 (単著) 昭和 56 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 13 輯 (55-78 頁)
- 13 愛と倫理 (1) (単著) 昭和 60 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 17 輯 (1-23 頁)
- 14 若きヘーゲルの「イエス」像 (1) (単著) 昭和 61 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 18 輯 (1-26 頁)
- 15 「選択」理論 (単著) 昭和 62 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 19 輯 (1-29 頁)
- 16 若きヘーゲルの「愛と生」の思想 (1) (単著) 昭和 63 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 20 輯 (1-34 頁)
- 17 若きヘーゲルの「イエス」像 (2) (単著) 平成 2 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 22 輯 (1-30 頁)
- 18 若きヘーゲルの「イエス」像 (3) (単著) 平成 3 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 23 輯 (1-32 頁)
- 19 若きヘーゲルとキリスト教 (1) (単著) 平成 4 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 24 輯 (1-58 頁)
- 20 末期癌の告知と人工中絶について－医療倫理学教育の最重要課題－ (単著) 平成 5 年 10 月 日本医学哲学・倫理学会『医学哲学倫理』第 11 号 (36-47 頁)
- 21 若きヘーゲルとキリスト教 (2) (単著) 平成 5 年 12 月 大阪大学医療技術短期大学部『研究紀要』人文科学篇 第 25 輯 (1-55 頁)
- 22 脳死の考察－シドニー宣言から脳死臨調までの新しい死の系譜－ (単著) 平成 7 年 12 月 大阪大学文学部哲学哲学史研究室『カンティアーナ』第 26 号 (1-26 頁)
- 23 世紀末の死生観 (単著) 平成 8 年 8 月 大阪大学開放講座『情報・ストレス・変化』(139-147 頁)
- 24 パターナリズムの黄昏 (単著) 平成 8 年 12 月 大阪大学文学部哲学講座『メタフュシカ』第 27 号 (123-140 頁)
- 25 生命の哲学 (1) (単著) 平成 9 年 3 月 大阪大学『文学部紀要』第 37 卷 (1-27 頁)
- 26 距離のバトスーあらゆる価値の価値転換－ (単著) 平成 10 年 3 月 平成 9 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 研究報告書『感情の解釈学的研究』(49-63 頁)
- 27 キルケゴールの「想起」論 (1) (単著) 平成 10 年 12 月 大阪大学文学部『待兼山論叢』第 32 号 (1-12 頁)
- 28 インフォームド・コンセントをいかに考えるか (単著) 平成 13 年 3 月 平成 12 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 研究報告書『コミュニケーションの存在論』(149-156 頁)

## 訳書

- 1 ピヒト、『いま、ここで』－アウシュヴィッツとヒロシマ以後の哲学的考察－（共訳）  
第1部「法と倫理の人間学的基礎」を担当。1. カントによる国際法の先験的基礎づけ  
2. 哲学と国際法 3. 人権論の精神的背景について 4. 倫理学の哲学的概念について  
昭和61年2月 法政大学出版局（本人担当分、21－225頁）
- 2 ピヒト、『続いま、ここで』－アウシュヴィッツとヒロシマ以後の哲学的考察－（共訳）  
第5部「教育－人間形成－科学」を担当。1. マスメディアと社会の未来 2. 創造性と人間形成  
3. 都市計画における音楽 4. 教育の危機から教育政策の危機へ 5. 成人教育  
6. 国家と社会は大学に何を期待しているか 7. 教育とはなにか 8. 悪について  
平成4年3月 法政大学出版局（本人担当分、375－537頁）

## 事典項目

- 1 『哲学基本事典』－哲学入門－（共著）解説1、人名4、事項13 平成4年4月 富士書店

## 学会発表

- 1 キルケゴールの「時の充実」について 昭和42年7月 カント・アーベント（大阪大学）
- 2 キルケゴールの瞬間弁証法 昭和42年7月 東海独文学会（南山大学）
- 3 キルケゴールにおける弁証法の問題 昭和45年10月 日本哲学会（愛媛大学）
- 4 ヘーゲルの「論理学」 昭和50年10月 関西哲学会（愛媛大学）
- 5 ニヒリズムの淵に立つバイオエシックス 平成3年11月 関西倫理学会（大阪府立大学）
- 6 末期癌の告知と人工妊娠中絶について－医療倫理学教育における最重要課題－  
平成4年11月 日本医学哲学・倫理学会（大阪医科大学）
- 7 脳死の考察 平成7年7月 大阪カント・アーベント（大阪大学）

## 講演

- 1 看護婦である前に 平成2年12月 看護職員研修会（大阪大学附属病院）
- 2 世紀末の死生観 平成8年11月 第28回大阪大学開放講座（吹田市文化会館）
- 3 パターナリズム再考－安楽死事件における医師・患者の関係の再検討－ 平成8年12月  
大阪大学文学部共同研究「自然と人間」 第1回研究会（大阪大学全学共通教育機構）
- 4 尊厳死と安楽死 平成9年5月 平成9年度懷徳堂春季講座（大阪府立情報文化センター）
- 5 生と死について考える－尊厳死と安楽死－ 平成9年7月 池田市生涯教育推進会研部会  
講演会（サンシティ・池田駅前南会館共同施設）
- 6 心豊かに生きる 平成9年10月 高齢者のための中央教養教室（豊中市立中央公民館）
- 7 脳死・尊厳死・安楽死・自殺 平成9年11月 大阪大学文学部第30回教官研究会（阪大文学部）
- 8 実存主義研究に関する大学院教育・研究協力 平成10年2月 広島大学文学部（東広島市）
- 9 風土を読む 平成10年9月 島根県立松江東高校東雲祭基調講演（松江東高校）
- 10 「MRの倫理」としての生命倫理学（1）平成14年7月 阪大微生物研究会「MR教育  
研修」（吹田市、阪大微生物研究会）
- 11 「MRの倫理」としての生命倫理学（2）平成14年11月 阪大微生物研究会「MR教育  
研修」（吹田市、阪大微生物研究会）

## 浅野遼二名誉教授 功績覚書

浅野遼二教授は、昭和39年3月大阪大学文学部哲学科を卒業、同年4月同大学大学院文学研究科修士課程に入学、哲学哲学史を専攻し、昭和41年3月同課程を修了、同年4月より同研究科博士課程に進学、昭和44年3月同課程を単位取得退学。愛知学院大学教養部助手を経て、昭和45年4月同専任講師に昇任し、昭和46年12月同大学を退職した。昭和47年1月大阪大学医療技術短期大学部講師に採用され、昭和50年6月同助教授を経て、昭和62年8月同教授に昇任した後、平成5年10月大阪大学教養部教授に配置換となった。平成6年4月同大学文学部教授に配置換となり、同時に大学院文学研究科の担当を命ぜられ、平成5年10月から平成8年3月まで医療短期大学部教授を併任し、平成8年3月には博士（文学）（大阪大学）の学位を授与された。その後、平成10年4月同大学大学院医学系研究科の担当を命ぜられ、平成11年4月からは大学院重点化に伴い、同大学大学院文学研究科教授に配置換となり、平成16年3月31日定年退官した。

同教授の業績は、第一にヘーゲルの弁証法と宗教思想、続くキェルケゴールの実存哲学及びニーチェの生に関する哲学の研究と教育、そして第二に生命倫理学の研究と教育の二領域にわたる。第一の領域においては、ヨーロッパ哲学の最も重要な体系の一つであるドイツ観念論を完成したヘーゲルの弁証法的思想を解明し、ヘーゲル哲学の批判を通して現代思想の方向を示したキェルケゴールの実存弁証法やニーチェの反弁証法的思想を対置するとともに、それらの思想の形成過程を一貫して「生」の立場から解釈する点に特色を持つ研究が重ねられ、その成果は本学の教育や学外の「実存主義研究に関する大学院教育・研究協力」などを通して還元された。第二の領域においては、脳死、臓器移植、インフォームド・コンセント、生命の質、尊厳死や安楽死などの問題を扱った多数の論考があり、これらの先駆的研究により同教授はこの方面では早くから認められてきた。加えて、末期癌と人工妊娠中絶に関する看護学生への綿密なアンケート調査を基に試みられた現代人の生命倫理観についての実証的研究は、医療倫理学教育の最重要課題を問うものとして、医療関係者からも注目された。またこの領域における研究の成果は、長年にわたる生命倫理学と看護倫理学の教育において還元され、高い評価を得ている。さらに近年では、生命倫理学が問いかけている「生」の具体的事実を基礎にして弁証法的生命哲学の構築を企図するという、先の二領域を総合する独創的な新しい試みがなされ、諸方面において同教授の深い識見が求められている。

さらに、同教授の教養教育における顕著な功績として、生命思想に関する講義とともに、特に長年にわたり基礎セミナーとして開講された「旅と風土」が挙げられる。これは、風土学に関連する文献の読解を通じて、人間の集団生活における風土のもつ役割を明らかにしていくとともに、受講生と教官の共同作業により旅行計画を立案・実施し、実際の旅行体験を通して風土の文化的意味を検証していくという特色ある試みであり、大変好評であった。

他方、同教授は、学内では医療技術短期大学部の一般教育主任として医学部保健学科開設に協力し、大阪大学医学部附属病院においては看護職員研修の講師を務めた。また学生生活委員

会をはじめ、いちょう祭委員会を務め、本学の管理運営に貢献した。さらに学外では日本医学哲学・倫理学会評議員を務めるほか、(財) 阪大微生物病研究会倫理委員として MR 教育研修の講師を務め、また市民に向けては懐徳堂、あるいは豊中市や池田市などの自治体等で講演を行い、社会貢献も顕著である。

(文、望月太郎)